

# 臨床腫瘍多職種研修会開催報告

山口大学医学部附属病院  
腫瘍センター事務局

令和6年2月29日(木)に、山口大学医学部附属病院腫瘍センター主催で、臨床腫瘍多職種研修会が、山口大学医学部附属病院オーデトリウムで開催されました。本研修は、院内のがん医療に携わる医師・薬剤師・看護師・MSW等の医療従事者を対象とした臨床腫瘍に関する研修会で、多職種26名の参加がありました。

本院腫瘍センターの井岡准教授の司会のもと、「膵がん教室のチームビルディングー多職種連携・協働の推進ー」と題して、大阪国際がんセンター 内科・外科系外来 看護師長 山田眞佐美先生にご講演いただきました。

研修会では、大阪国際がんセンターの膵がん教室の立ち上げについてのお話や運営についての工夫、またスタッフの方々の思いから生まれた膵がん教室のテーマソング「希望の光」を作成し、膵がん教室やオンラインセミナーの際、活用している様子などを詳しくご講演いただきました。参加者からは、「今後、病棟でこのような教室などを開催する際に参考になる」、「患者教室が、患者・医療者双方にメリットがあることが分かった」、「多職種で活動すること、とても参考になった」「純粋に勉強になった」など多くの意見が寄せられ、大変有意義な研修会となりました。

腫瘍センターでは、これからも医療従事者に向けた様々な研修会を計画していきたいと思っておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後とも何卒よろしくご厚意申し上げます。

## 《研修会風景》

